

# 令和6年度 評価案

読書活動推進委員会

	1学期	2学期	3学期
1年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 図書館の利用の仕方がわかり、絵本を選んで読むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 乗り物について、本で調べることができる。</li> <li>・ 動物が出てくる本を読むことができる。</li> <li>・ 昔話に親しむことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 好きな場面を絵に描くことができる。</li> </ul>
2年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 昆虫や植物について、本で調べることができる。</li> <li>・ 関心のあることについて、本で調べてまとめることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 夏休みに読んだ本を紹介することができる。</li> <li>・ 昔話に親しむことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 心にのこったことを絵に描くことができる。</li> </ul>
3年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国語辞典、百科辞典の使い方をすることができる。</li> <li>・ 索引や目次を活用することができる。</li> <li>・ 関心のあることについて、本で調べてまとめることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同じ作者の本を読むことができる。</li> <li>・ おすすめ図書カードを書くことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ おすすめの本を紹介することができる。</li> </ul>
4年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 漢字辞典の使い方をすることができる。</li> <li>・ 短歌や落語に親しむことができる。</li> <li>・ 関心のあることについて、本で調べてまとめることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 読書発表会をすることができる。</li> <li>・ 古典的童話作品を読むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 詩を読むことができる。</li> <li>・ おすすめの本を紹介することができる。</li> </ul>
5年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 土地について、本で調べることができる。(社会科との関連)</li> <li>・ 漢文の本を読むことができる。</li> <li>・ 新聞の仕組みを知ることができる。</li> <li>・ 関心のあることについて、本で調べてまとめることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 古典作品を読むことができる。</li> <li>・ 図書すいせん会をすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 食に関する本を読んで、調べることができる。(総合)</li> <li>・ おすすめの本を紹介することができる。</li> </ul>
6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 随筆に親しむことができる。</li> <li>・ 伝えたいことをすいせん文にまとめることができる。</li> <li>・ 1年生に本の読み聞かせをすることができる。</li> <li>・ 関心のあることについて、本で調べてまとめることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 物語の世界を想像して書くことができる。</li> <li>・ 近代文学作品を読むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大切な本を紹介することができる。</li> </ul>

- ・ 第2学年以上は、「図書館を使った調べる学習コンクール」への応募をする。
- ・ 各学年とも、随時「読書科ノート」の活用を図る。